1.カウンセリングとは何か？

■カウンセリングの一般的な解釈

「個人のもつ悩みや問題を解決するため、精神医学・心理学等の立場から協力し助言を与えること。個人指導。身の上相談。」
（広辞苑より）

⇩

しかしながら、内容が抽象的であいまいなので、次のように定義するものとする。

■カウンセリングの定義

『アドバイスを求めている人が行動計画を立てるのに役立つことを目的としたポジティブな形のツーウェイコミュニケーション』

⇩

■ 業務上のトレーニング

■ 個人的適応の促進

2.カウンセリングの種類

1）interview for leading：指導面接

管理者とその部下が業務上もしくは自己啓発上の目標設定するためのもの

2）interview for counsel：相談面接

個人の適応上の問題解決を図るためのもの

⇩

■カウンセリングの実施ケース

- ■ パート・アルバイト自身に問題が発生した場合
- ■ 管理者がある働きかけを行いたい場合

◆ある働きかけとは？？？ ⇒ ポジティブなストローク

⇩

■カウンセリングの効果を上げるコツ

- ■ カウンセリングのみでは、効果が上がりにくい
- ■ カウンセリングと同時にトレーニング（計画と実施）の実施が必要

3.カウンセリングが必要なP/A

⇒多くのP／Aがいる中で、どのようなケースにカウンセリングが必要なのか

1）カウンセリングで取り扱う2大重要項目

（1） 勤務状態

（2） 規則違反

したがって、対象とすべきP/Aとしては、4パターン考えられる

2）カウンセリングが必要なP/Aの4つのパターン

勤務状態	悪い	Ⓒ 勤務状態 ⇒ 悪い 規則違反 ⇒ 無	Ⓓ 勤務状態 ⇒ 悪い 規則違反 ⇒ 有
	良い	Ⓐ 勤務状態 ⇒ 良い 規則違反 ⇒ 無	Ⓑ 勤務状態 ⇒ 良い 規則違反 ⇒ 有
		無	有
		規則違反	

4.誰のカウンセリングをどのように行うか？

	対象P/A	理由	4つのタイプ	カウンセリングの実施方法
カウンセリング	質の高いP／A	勤務状態	Ⓐ 勤務状態が良いP/A 規則違反なし	・新しいことを教える ・さらに伸ばす ↓ 積極的な行動態度をより強化する
		規則の違反	Ⓑ 勤務状態は良いが 規則違反を犯したP/A	カウンセリングをする前に ・どのような規則が当てはまるか ⇒ P/Aが知っていたか ・どのようなアクションを起こすか ・その規則は常に適用されているか ⇒ 一貫性 ・事実を集める ・相手の言い分も聞く ・目的が適切かどうかは上司と一緒に決める
	質の低いP／A	勤務状態	Ⓒ 勤務状態が悪いP/A 規則違反なし	・行動の修正 ↓ 相手は防御の姿勢をとる ↓ 話し合いの持って行き方が決め手
		規則の違反	Ⓓ 勤務状態も悪く 規則違反を犯したP/A	・状況によってはカウンセリングの結果で解雇することになることがある 確認事項 a. 公平か b. 一貫しているか c. 事実に基づいているか d. 証拠はあるか